

# House Share

## ～増殖可能な住宅～

八代研究室  
00512157 引地 健

### 1. はじめに

ハウスシェアは欧米諸国社会では、未婚の若い社会人や学生に広く普及している居住形態で、ひとつの住宅に他人同士が、共同して居住することを言う。

しかし、その形態は日本では普及しておらず、そこで私は、シェアが出来る住宅を日本でも普及させていきたいと感じ、本計画を提案する。

### 2. 敷地(図1)

・計画地：埼玉県三郷市 ・敷地面積：約 500 m<sup>2</sup>

本敷地は、三郷中央駅から徒歩約 15 分の場所に位置する。周辺は閑静な住宅街が並び、都心へのアクセスも良好であるため大勢で住まえる住宅の必要性が高く求められている。敷地の周りは道路に面しているため日当たりは良く、東側には土手があり、土手の向こうに江戸川を遠望する事が出来る。

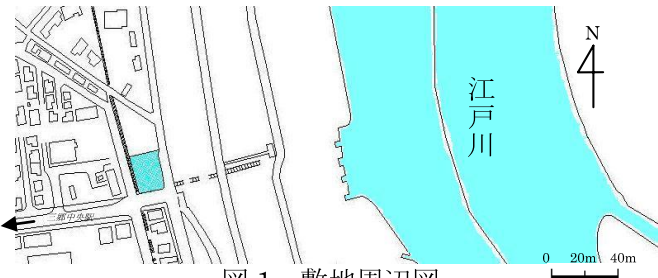


図1 敷地周辺図

### 3. コンセプト(写真1)

住宅の各部屋を各居住者のプライベートルームとし、リビング、ダイニング、キッチン、バスルーム、トイレは共有スペースとして利用する形態を用いる。

- ・一つの箱をいくつか制作する(左)。
- ・螺旋状に並べる(中央)。
- ・螺旋状に並べたものを崩す(右)。

箱の大きさは一辺が 3,400 mm(約 6 畳)で、寝室をイメージした。これを結合していき螺旋状にする事で、螺旋部分は各々のスペース、空いた部分には共有スペースが生まれる。また屋外では上階に上がる導きとなる。

その箱は螺旋状に並べるだけでなく、より建物に変化を生み出すために、形状を崩すことで新しい空間が生まれる。そして統一性のない形になり、それぞれ異なる景観が見える。そこからシェアをできるスペースを考えた。このシステムは箱を結合することで出来ているため今後周辺への増殖が可能である。



写真1 コンセプト

### 4. プラン説明(図2,3)

本設計は未婚の若者が三人でシェアすることを想定とする。

まず建物の東側、南側、西側に各々のプライベート空間を配置し、北西側にはトイレ、風呂、洗面所を配置した。そして、建物の中心になる部分には人が集まるよう開放的な空間にしてリビング、ダイニング、キッチンを配置した(図2)。

この建物は基本的に階数が定まっておらず、段差をつけることで各々を分節させ、面白みを持たせるよう工夫を行った(図4,5)。

建物の中心はみんなが共有し、開放的な場なので光を多く取り入れ、そのため天井からは段差を利用してトップライトを設けた(図4)。

プライベート空間では段差をつけることで同じ部屋でも異なる表情の空間を見せる事が出来る。また中心から上階へ上がり自由スペースを設け、自由スペースをぬけると屋上へと繋がる(図3,5)。高い段差は階段を設けて最高部へと導いている(図6)。

屋上へは、外部からも上れるよう屋外階段を設けた(写真2)。そして、屋上の最後部からは土手を越え江戸川を遠望出来る(図7)。

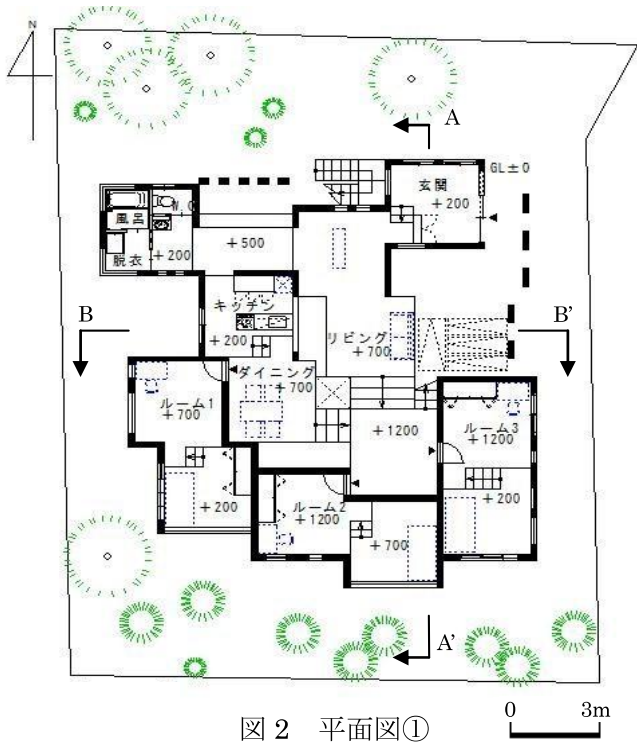


図2 平面図①

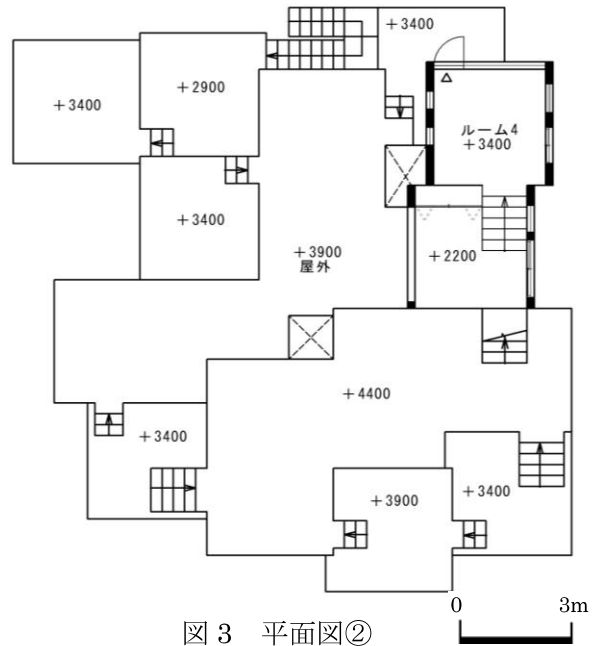


図3 平面図②

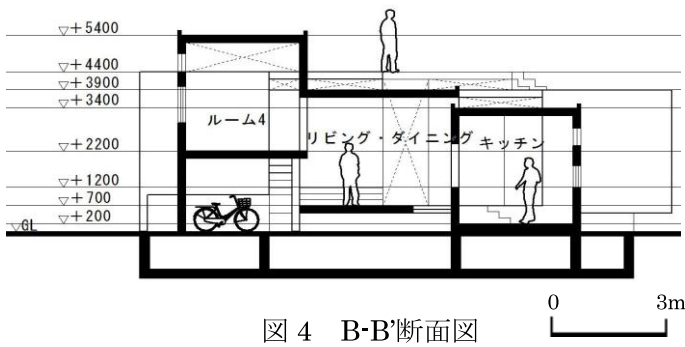


図4 B-B'断面図

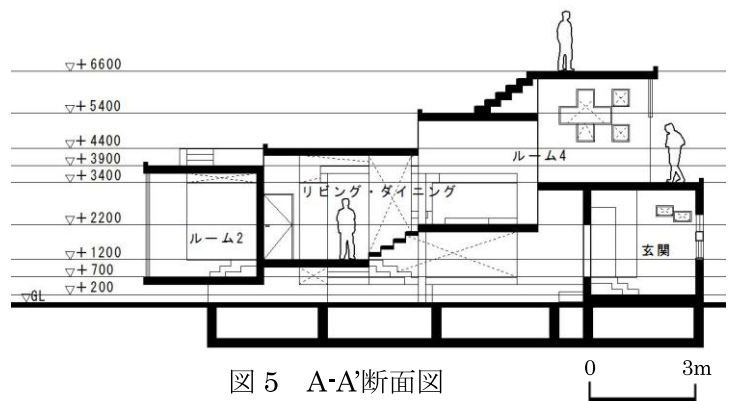


図5 A-A'断面図

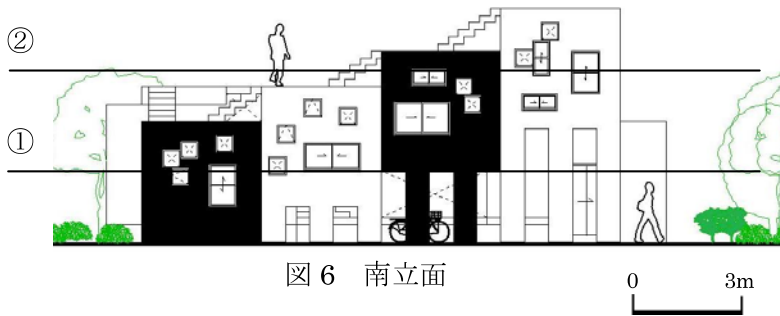


図6 南立面

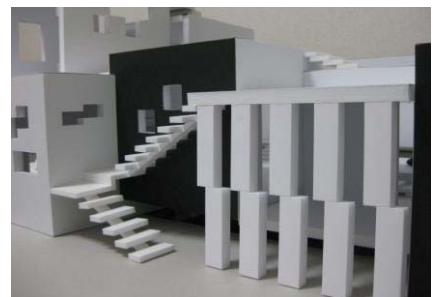


写真2 屋外階段

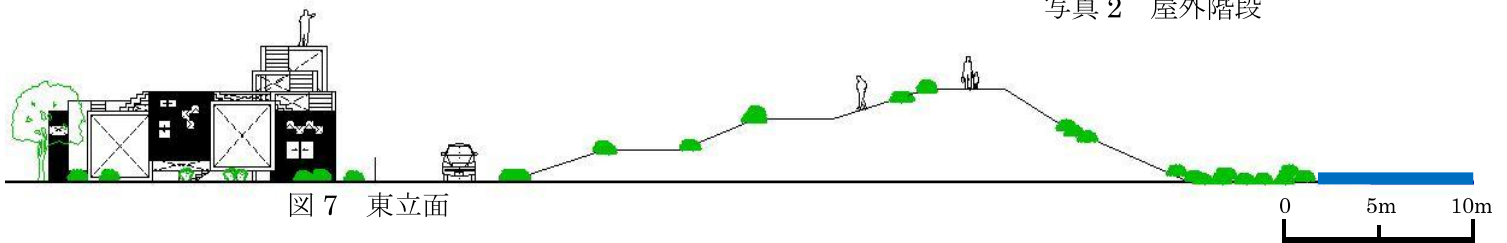


図7 東立面